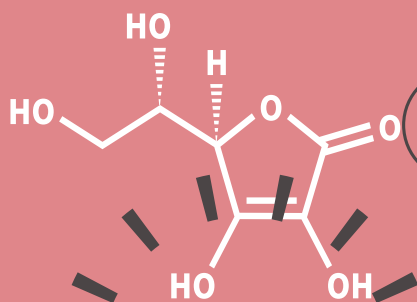




10月23日「化学の日」

千葉市科学館

化学月間 2025

実験講座・講演参加の方へ
「化学の日」記念グッズをプレゼント

化学月間とは??

アボガドロ定数(※1)にちなみ、毎年10月23日を「化学の日」(※2)、その日を含む月曜日から日曜日までの1週間を「化学週間」として2013年より制定されました。

千葉市科学館は2025年10月18日(土)～11月2日(日)を「化学月間」として、化学にかかわるイベントを多数開催します。

※1 アボガドロ定数：1モルの物質中に存在する粒子の数 = $6.02 \times (10^{23})$ に由来

※2 日本化学会、化学工学会、新化学技術推進協会、日本化学工業協会が制定

後援：公益社団法人 日本化学会、公益社団法人 新化学技術推進協会

10月11日(土)・12日(日)・17日(金)・18日(土)・19日(日) は無料開放日につき、常設展示・プラネタリウムが無料です。



千葉市中央区中央4-5-1 Qiball(きぼーる)内 7～10階
開館時間 9:00～19:00 TEL 043-308-0511(代表)
<https://www.kagakukanQ.com>

- アクセス
- ・電車 JR千葉駅から徒歩15分 京成電鉄千葉中央駅から徒歩6分
 - ・千葉都市モノレール 葭川公園駅から徒歩5分
 - ・バス 千葉駅東口7番乗り場より中央三丁目下車徒歩1分

常設展示入館料

- 大人 600円 / 高校生 300円 / 小・中学生 100円
以下の方はチケット購入時に確認できるものをご本人がご提示で無料
- ・千葉市内在住の65歳以上の方
 - ・障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名様まで
 - ・「ふれあいパスポート」をお持ちの市内在住・在学の小・中学生(土曜日のみ)

子どもから大人まで楽しめる！ボランティアによる「化学」実験講座

対 象

小学3年生以上

※小学3～4年生は保護者同伴

定 員

各8名

会 場

8階 科学実験室 A

料 金

常設展示入館料

※裏面に記載あり

日 時

10月19日 日

11月2日 日

①11:00～12:00

②14:00～15:00

→ 申込フォームから
はコチラから



水素を知ろう ～水から水素を作り、鉛筆で電子オルゴールを鳴らそう～

水を電気分解させて水素を作り、火に吹きつけた時の変化を観察します。また、鉛筆の芯に蓄えた水素と酸素を反応させて、電子オルゴールを鳴らしてみましょ。

申込期間

9月20日(土) 9:00～10月5日(日) 23:59

申込方法

申込フォーム

2次元コードからアクセスし、申込フォームへお進みください。

※同伴者は参加者1名につき2名までとさせていただきます。

※対象学年未満の入室はできません。

※応募者多数の場合は抽選となります。締切後に当選者のみメールでお知らせします。

※残席がある場合は、講座開始15分前から参加されるご本人に整理券をお渡しします(先着順)。

※理由にかかわらず講座開始後のご入室はできません。時間に余裕を持ってお越しください。

※工作物などの持ち帰りはありません。

大人(高校生以上)を対象とした「化学」講演会

日 時

10月18日 土

10:30～12:00

カーボンニュートラル社会実現に向けて ～CO₂を排出しないクリーンアンモニアの燃料利用の最前線～

講 師: 松本 寛人

出光興産株式会社 次世代技術研究所 環境・エネルギー研究室 シニアソシエイト

地球温暖化防止に向けてカーボンニュートラル社会の実現が喫緊の課題となっています。カーボンニュートラル実現のためには、化石資源に依存しないカーボンフリーな燃料の利用が必須です。その中で、CO₂を排出しないクリーン燃料としてアンモニアが注目されています。アンモニア自体は肥料などに使われる私たちにとって身近な素材ですが、なぜ今、クリーン燃料としてアンモニアが着目されているか、その理由を紐解くとともに、導入に向けた最新の動向について解説します。



日 時

10月19日 日

13:30～15:00

超分子化学とオリンピック

講 師: 矢貝 史樹

千葉大学大学院 工学研究院 共生応用化学コース/国際高等研究基幹教授

機械の部品のような形をした分子は分子機械と呼ばれ、近い将来、薬剤や機能性プラスチックとしての応用が期待される研究分野です。有名な研究の一つに、「オリンピックアダン」と名付けられたオリンピックのロゴさながら5つの輪っかがつながった分子が1994年にStoddart教授らによって作られ、世界中の研究者が興奮しました。そして2020年、矢貝研究室は「ナノ-オリンピックアダン」と呼ばれる特殊な顕微鏡で見るサイズのオリンピックアダンを発表し、再び世界の注目を集めました。本講座では、誰もが想像できなかった究極の分子集合体がどのようにして実現されたのか、矢貝研究室が10年以上にわたって挑み続けた研究の軌跡を紹介します。



日 時

10月25日 土

13:30～15:00

次世代太陽電池が拓く未来

講 師: 瀬川 浩司

東京大学大学院 総合文化研究科 広域科学専攻 広域システム科学系/東京大学 先端科学技術研究センター 教授

2050年のカーボンニュートラル実現に向けて、わが国では再生可能エネルギー導入拡大が急務となっています。なかでも太陽光発電は、日本の再生可能エネルギーの主力ですが、現在では設置場所の制約が顕在化し導入拡大が頭打ちになっています。この状況を打開するものとしてペロブスカイト太陽電池などの高性能で軽量の次世代太陽電池に注目が集まっています。本講座ではこれらの次世代太陽電池の発電の仕組みや実証事業など、研究開発と実用化に向けた取り組みの現状と展望について紹介します。最後に蓄電機能を内蔵した太陽電池についても紹介します。



対 象

高校生以上

※テーマに関心のある小中学生の参加可

定 員

各30名

会 場

10階 探究実験室

料 金

常設展示入館料

※裏面に記載あり

申込期間

8月20日(水)～9月8日(月) 必着

申込方法

申込フォーム/往復はがき

申込フォーム

2次元コードからアクセスし、講座詳細ページから申込フォームへお進みください。

往復はがき

往信面裏側に応募講座名・申込者氏名・住所・電話番号をご記入ください。

〒260-0013 千葉市中央区中央 4-5-1 きばー 7 階 千葉市科学館「大人が楽しむ科学教室」係

※往復はがき1枚につき1講座1名のみご応募ください

※応募多数の場合は抽選となります。

申込フォームでご応募の方は締切後に当選者のみメールでお知らせします。往復はがきでご応募の方は返信はがきをご確認下さい。

※同一講座に複数回お申込されても1回のお申込として扱います。(申込フォーム・はがき共通)

※講座開始後のご入場や途中退出はできません。時間に余裕を持ってお越しください。

※当日残席がある場合は、開始15分前より会場にて受付を行います(先着順)。

※入室は当選者ご本人のみとさせていただきます。

→ 申込フォームから
はコチラから

